

## 全国学力・学習状況調査について

### 1 調査の概要

(1) 実施日	平成27年4月21日(火)		
対象	小学6年生、中学3年生の全児童・生徒(悉皆調査)		
参加状況	小学校	195校	7,009人
	中学校	74校	7,159人
	計	269校	14,168人

### (2) 調査内容

#### ○教科に関する調査

- ・国語 } 主として「知識」に関する問題(A問題)
- ・算数・数学 } 主として「活用」に関する問題(B問題)
- ・理科 — 「知識」および「活用」に関する問題

#### ○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・「朝食を毎日食べている」など生活に関する質問(児童・生徒対象 87項目)
- ・「宿題を与える」など教育活動に関する質問  
(学校対象 小学校:112項目 中学校:110項目)

### (3) 今年度の特徴的な問題

#### ・国語

小学校:読書のことについて書かれた新聞コラムを題材にして、要約し必要な言葉を引用する問題

中学校:2020年の日本社会について、3つの資料から2つを選択し、自分の考えを書く問題

#### ・算数・数学

小学校:検算の重要性を問う問題が初めて出題

中学校:サイコロを投げる回数を増やしていくと「1の目が出る確率」が一定の値に近づいていくことを通して確率1/6の意味を問う問題

#### ・理科

小学校:ピーカーに入れた水を下から熱するときの水の温まり方について、自分の予想をもとに水の温度が高くなる順番を選ぶ問題

中学校:キウイフルーツの上に置いたゼリーの溶け方の違いを観察し、実験の課題を自分で設定する問題

## 2 今後の対応

### (1) 調査問題の早期分析と授業の早期改善

- ・約500名分の児童・生徒の解答を集めて県独自に分析（4月）
- ・分析結果を各学校に速報で提供（5月）
- ・全国学調分析対策会議を開催（5月）
- ・各学校において速報をもとに小6児童・中3生徒を指導（1学期中）
- ・文部科学省の公表結果を分析し、再度、指導改善を徹底（9月～）

### (2) 調査結果の公表

- ・文部科学省による調査結果の公表（例年8月下旬）
- ・県教委による県全体の調査結果、分析結果の公表（9月）
- ・各市町教委による市町ごとの調査結果、分析結果、今後の授業改善策の公表（9～10月）

# 特徴的な問題例 (小学校国語A)

## A 5 新聞のコラムを読む

経年の課題を踏まえた出題  
 ・読書のことについて書かれた新聞のコラムを読んで要約し、必要な内容を適切に引用して書く。  
 新聞のコラムが取り上げられたのは初めて

※解答は、解答用紙に書きましょう。

--	--	--	--

5 次は、読書のことについて書かれた新聞の「コラム」(筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事)です。この「コラム」は、全体の内容が1から5までのまどまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まどまりを表す印です。

1▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2▼子供ころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。菜園の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3▼ある作家の言葉に、「読書という

ものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気が付かなかった人物の見事な筆遣い、賢治のすばらしさを実感した。5▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も真心返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

※1「撰字」…かき直すこと。  
 ※2「真心」…子供の心。

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまどまりを、「コラム」の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましよう。ただし、句点(。)、読点(、)、かぎ(「」)は字数にふくみません。

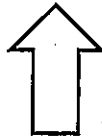


## 特徴的な問題例（小学校算数A）

### A1 検算の重要性を問う問題

6.3 + 0.22 の答えを 6.52 と求めました。  
この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。  
下の **ウ**、**エ**、**オ** に入る数を書きましょう。

**ウ** - **エ** を計算して、**オ** になるかどうかを確かめます。



- ・ 昨年、全小学校に「検算の習慣化」のプリントを配信。
- ・ 授業改善に活かすよう助言。

#### 検算の習慣化 「算数は検算が大切」

- 局面にあった検算方法を指導する。
  - ・ 自分の解いた過程を、再度たどってみる。
  - ・ 答えの大きさを確認することにより、正しいかどうか判断する。
  - ・ 違う解法で解いてみる。
  - ・ 解法の途中で確認する。

過去の調査結果から、計算の結果が大きく誤っていても、そのことに気付かず、結果を修正していない実態が見られる。数量や図形についてのおよその大きさや形を捉えることによって、解決の見通しをもつことができ、大きな誤りを防ぐことができるため、計算の結果の見積りや確かめの習慣を身に付けることは大切である。

## 特徴的な問題例（中学校数学A）

A15 (2) 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる問題

さいころを1回投げる確率が $\frac{1}{6}$ であるさいころがあります。このさいころを投げるとき、どのようなことがいえますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

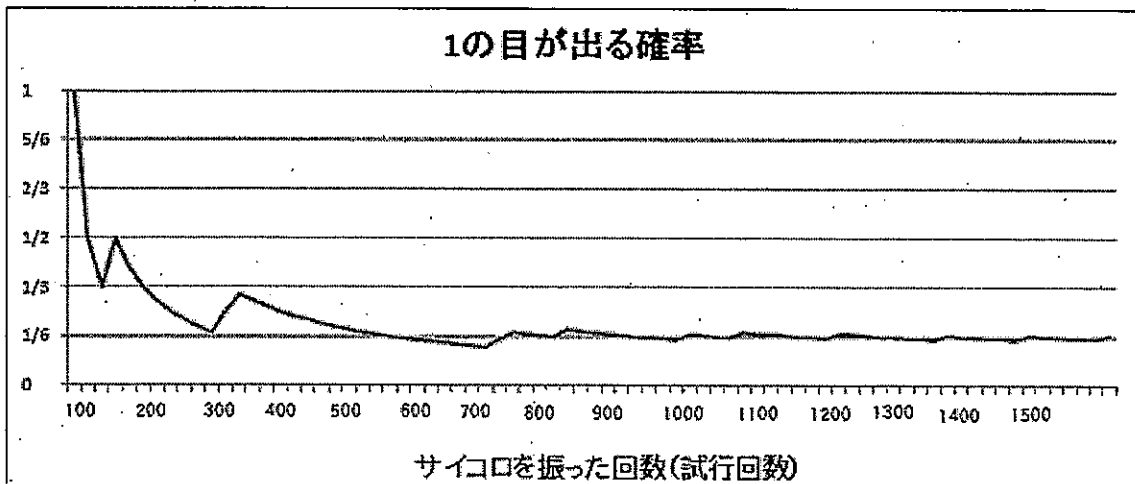
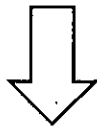
ア 5回投げて、1の目が1回も出なかったとすれば、次に投げると必ず1の目が出る。

イ 6回投げるとき、そのうち1回は必ず1の目が出る。

ウ 6回投げるとき、1から6までの目が必ず1回ずつ出る。

エ 30回投げるとき、そのうち1の目は必ず5回出る。

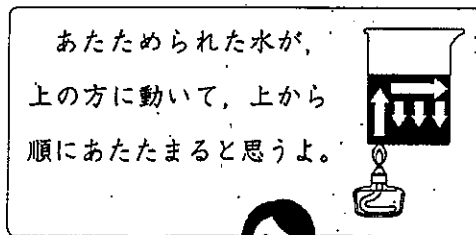
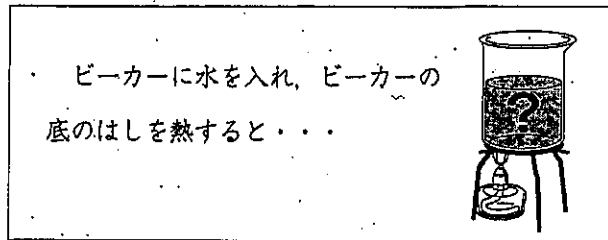
オ 3000回投げるとき、1の目はおよそ500回出る。



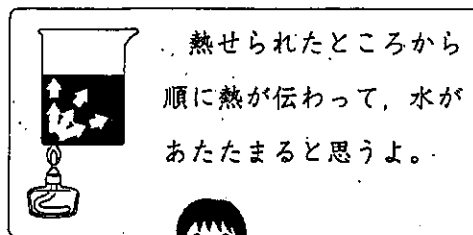
例えば、さいころを多数回投げる実験で、投げる回数を多くしたとき、投げた回数に対するそれぞれの目の出る回数の割合がいずれも $1/6$ に近づくことを、実感を伴って理解する活動を取り入れることが大切である。

特徴的な問題例（小学校理科）

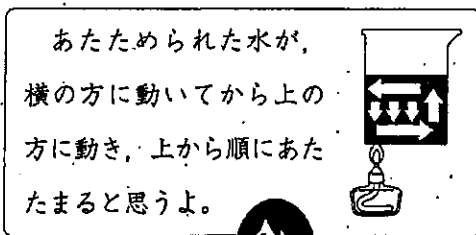
幾つかの予想について1つずつ見通しをもって考える問題



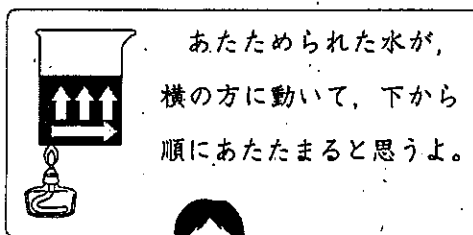
ゆかりさん



としおさん

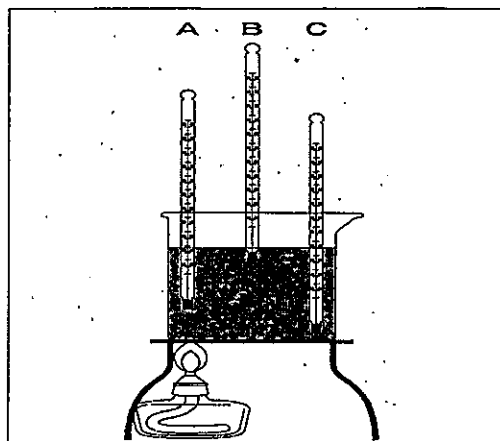


りか子さん



あきらさん

りか子さんの予想が正しければ、どの温度計から順に温度が高くなっていきますか？

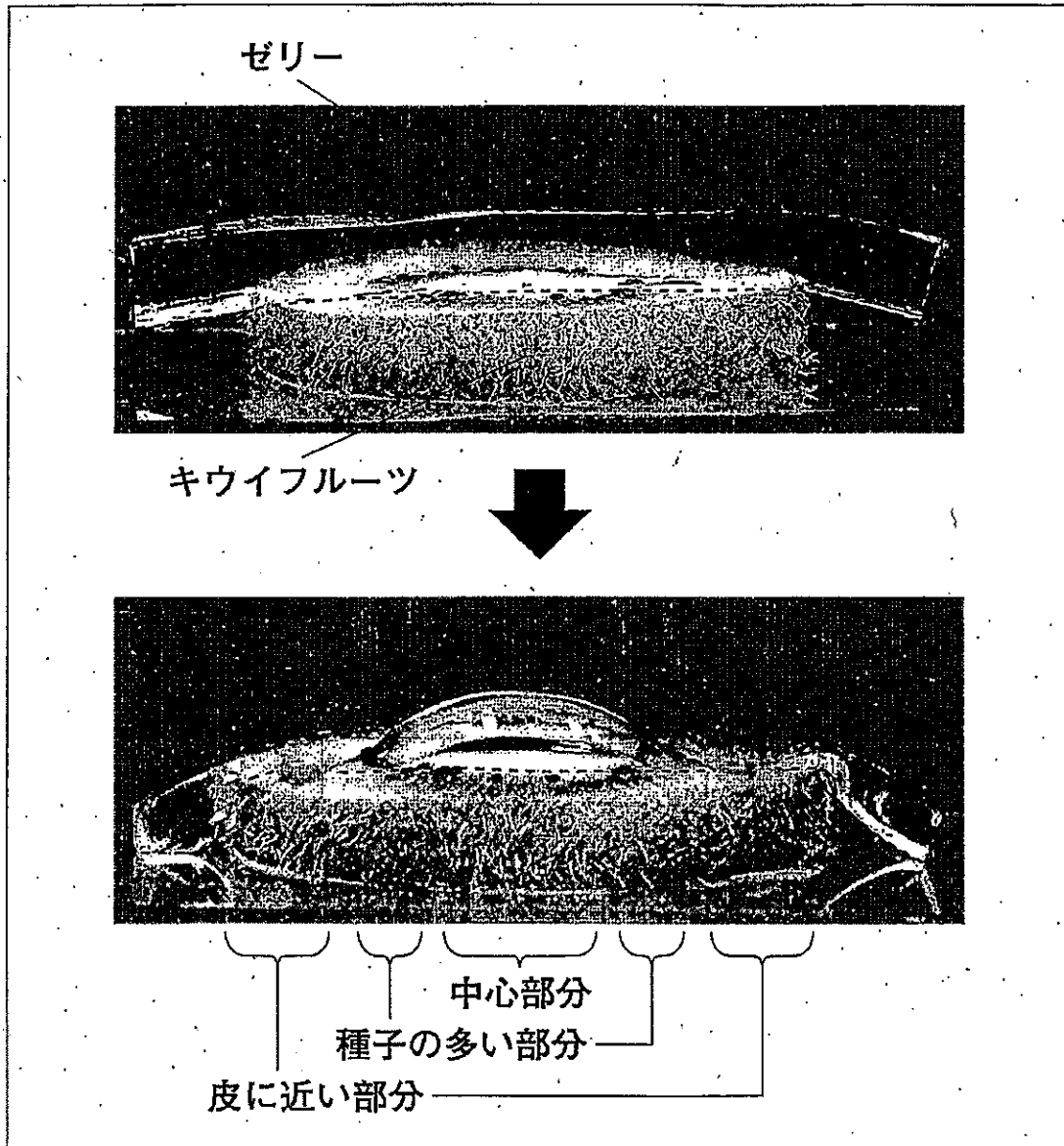


1つの実験について、いろいろな予想をし、それぞれに見通しを持つことによって、客観的に多面的なものの見方のできる子どもの育成を目指す

特徴的な問題（中学校理科）

## なぜ？という疑問から、自分で課題を設定する問題

輪切りにしたキウイフルーツの上に、細長いゼリーを置いてしばらく時間をおいたところ「皮に近い部分」「種子の多い部分」「中心部分」でゼリーの崩れ方に違いが見られたのはなぜ？



課題を設定しよう

キウイフルーツが物質を分解するはたらきは、

( )